

経費所要額調

※記載例(新卒卒の場合)

(補助事業者名 株式会社 ○○○○)

総事業額 (A) 円	寄附金その他の収入額 (B) 円	差引き額 (A)-(B) (C) 円	対象経費の支出予定額 (D) 円	基準額 (E) 円	選定額 (F) 円	補助金所要額 (G) 円	備考
4,200,000	0	4,200,000	4,200,000	3,720,000	3,720,000	3,720,000	

別紙3の収入・支出の合計額と一致

例) 1ヶ月 35万×12ヶ月=4,200,000円
(基本給、手当※、保険料等)

※開講日・閉講日のある月は満額ではないので注意

- ・4月は開講日以降の日給の合計額
- ・3月は閉講日までの日給の合計額

※新卒卒以外は時間外手当や残業手当等は対象外

例) 新卒卒の基準額

- ①給与 210,000円×12ヶ月=2,520,000円
- ②賞与 1,200,000円
- ①+②=3,720,000円

(D)欄又は(E)欄の
いずれか低い方の額

(C)欄又は(F)欄のいずれ
か低い方の額
※1,000円未満の端数が生じ
た場合は切り捨て

(注) 1 「選定額」欄は、(D)欄又は(E)欄のいずれか低い方の額を記入してください。

2 「補助金所要額」欄は、(C)欄又は(F)欄のいずれか低い方の額(1,000円未満の端数を生じた場合は、これを切り捨ててください。)を記入してください。

事業計画書

※記載例

補助事業者名 株式会社 ○○○○

研修受講者名	○○ ○○
採用年月日	令和○年○月○日
研修期間	令和○年○月○日～令和○年○月○日
研修場所及び期間	
研修内容	

収入支出予算書 (見込み) (抄本)

※記載例(新卒卒の場合)

(1) 収入の部

区分	予算額	備考
	円	
補助金	3,720,000	
自己資金	480,000	
		(総事業費) - (補助金) = 自己資金
合計	4,200,000	

別紙1(A)と一致

(2) 支出の部

区分	予算額	備考
	円	
人件費	4,200,000	
		人件費や研修経費としてまとめていただいてもかまいません。
		収入合計、別紙1(A)と一致
合計	4,200,000	

(D)欄又は(E)欄のいずれか低い方の額

経費所要額精算

※記載例(新卒卒の場合)

(補助事業者名 株式会社 ○○○○)

総事業額	寄附金その他の収入額	差引き額 (A)-(B)	対象経費の実支出額	基準額	選定額	補助金所要額	補助金交付決定額	補助金額(G)又は(H)の少ない方の額	補助金受入済額	補助金請求額(I)-(J)	備考
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
3,600,900	0	3,600,900	3,600,900	3,720,000	3,600,900	3,600,000	3,720,000	3,600,000	0	3,600,000	

研修期間中に係った人件費の総額

(1円単位まで記入)

例) ①1ヶ月25万×12ヶ月=3,000,000円

②手当等 600,900円

①+②=3,600,900円

申請時と同額

例) 新卒卒の基準額

①給与 210,000円×12ヶ月=2,520,000円

②賞与 1,200,000円

①+②=3,720,000円

申請時に交付決定された額別紙1(G)と一致

(C)欄又は(F)欄の額のいずれか低い方の額
※1,000円未満の端数が生じた場合は切り捨て

(注) 1 「選定額」欄は、(D)欄又は(E)欄のいずれか低い方の額を記入してください。

2 「補助金所要額」欄は、(C)欄又は(F)欄の額のいずれか低い方の額(1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨ててください)を記入してください。

実績報告書

※記載例

事業所名/氏名: 株式会社 ○○ ○○/ △△ △△

月日	研修・活動場所	研修の内容	同行訪問		備考
			有無	時間 ※2	
4/1	県立大学	開講式、オリエンテーション			対象者の疾患名や、行った看護等を記載してください。 「(単独)」の記載はなくても大丈夫です。
4/2	△△ステーション	9:00～10:00 ○○疾患、服薬管理 13:00～14:00 ××疾患、バイタルチェック	有		
4/3	△△ステーション	10:00～11:00 ○○疾患、・・・(単独) 14:00～15:00 ××疾患、・・・(単独) 15:00～16:00 △△疾患、・・・	無	2時間 (120分)	
4/4	△△ステーション	8:30～12:00 ○○疾患、・・・(単独) 14:00～16:00 ××疾患、・・・(単独)	無	6時間30分 (390分)	
4/5	県立大学	振り返り			
		⋮ ⋮ ⋮			
3/20	県立大学	閉講式			
<p>(例)</p> <p>①4月の給与(基本給、通勤手当等の補助対象経費): 220,000円</p> <p>②同行訪問「無」の時間給を計算 4月 120分+390分=510分 510分÷60分=8.5時間 8.5時間×1,000円(時給)=8,500円</p> <p>③4月の実績を出す ①-②=211,500円(補助対象経費)</p> <p>※他の月も同じように計算し、実績額を出してください。 ※本事業は、研修生の人件費に相当する額を補助するものであるため、単独訪問による医業収益があれば、当該訪問に要した時間分の経費に相当する額が対象外となります。</p>					

※1 同行訪問の有無については、「単独訪問による医業収益があれば、当該訪問に用いた時間分の対象経費に相当する額の返還が必要」なため、研修期間中の訪問看護ステーションでの訪問に関して『同行訪問の有無』を記入してください。

※2 同行訪問「無」の場合、訪問(ステーション出発からステーション帰着まで)にかかった時間を記入してください。

※記載例(新卒卒の場合)

収入支出決算 (見込み) 音 (抄本)

(1) 収入の部

別紙3と同額

実際にかかった費用

区分	予算額	決算額	差引き増減(△)	備考
	円	円	円	
補助金	3,720,000	3,600,000	-120,000	
自己資金	480,000	900	-479,100	
合計	4,200,000	3,600,900	-599,100	

端数として切り捨てた金額は「自己資金」として計上

別紙7(A)と一致

(2) 支出の部

区分	予算額	決算額	差引き増減(△)	備考
	円	円	円	
人件費	4,200,000	3,600,900	-599,100	
合計	4,200,000	3,600,900	-599,100	

支出合計は収入合計と合致